岩手県技能士会会報

向

命

とし

います。

して技

能

士

は、

技 能

士

 \mathcal{O}

資

質向

上

لح

地

位

要

文です

年業

能

関

R係団:

りま

Vol.19 2025.1

> 岩手県技能 士会会長



に貢献することで、と言われています。と言われています。 運会新営員年 (の皆) 様、 画 L 関 7 ご協力を賜り、関係団体、行政のにおめでとうござ 会員 巳(み)なり」 更なる成長と発展を遂げていきたいと考え「員・地域の皆様との繋がりを更に深め、社 でとうござ ŋ, く、厚く御礼申, 図の皆様には、こざいます。 通 実 りや繁栄を象徴 し上げ 素よ えます。 か当

|技能士

する

せくださるようお願いします。活動も会報を通じて広くお知らたちにものづくり・技能への興たちにものがくり・技能への興ただくことが必要です。そのた会員拡大のためには、当技能 国地区技能士会の 同上を図ることを使 しかしながら、近年 しかしながら、近年 はながら、近年 は展 のい年、 解散地 散とはなる。会員体の保証体 ら加興た能 が、味め、 う能がの連 士 せ 士減連 て 会 • 残念なニュース正会も少なくあり減少は深刻化し、 い関各の 7 ところです。このようなところです。このような大能士会でに į 一会では、 ŋ ス もま積集 あせ極が ん的重 ŋ 知 子ども でな事

1 令和6年度表彰を受けた皆様

む寄

付昨

い年

能継承等の取り ただきました 岩

手

 \mathcal{O}

取り組みに活用させていたした。頂戴いたしましたご岩手の名工会様から、当時

戴工

たしましたご寄付様から、当技能士

は会に

当残会余

が財

取産

1) 組

をご

も改技

おりますのという。おりますのである。

多額工

一会様のこれまでのご功績

ただきます。

付に対

Ĺ

心より感

の感謝申しる感に敬意を表

上表

げす

ります。

この

め能

令和6年度技能関係の表彰者は次の皆様です。 おめでとうございます。

【全国技能士会連合会長表彰】

志和京多(奥州金ヶ崎地区技能士会) 照井文雄(遠野地区技能士会) 皆川初雄(東磐地区技能士会)

【岩手県技能士会長表彰】

岩渕清和(奥州金ケ崎地区技能士会) 佐藤大治郎(東磐地区技能士会) 管修一(大船渡地区技能士会) 菊池智仁 (遠野地区技能士会) 大尻孝雄(久慈地区技能士会) 千葉利行(二戸地区技能士会) 小野寺傳(岩手県造園技能士 鴇田圭一(岩手県日本調理技能士会)

【叙勲(瑞宝双光章)】

ますよう、と会としての犯法がに、大会としての犯法を表する。

心より祈念申し上げます。本年が皆様にとって、実り多き素晴らい役割と責任を果たしてまいる所存ですな、沢ではありますが、会員の皆様と力を

実り多き素晴らし

1

年とな

皆様と力を合

わ

せ、

技

能

士

澤田隆道(花巻職業訓練協会会長)

【叙勲(瑞宝単光章)】

星邦彦(東磐職業訓練協会会長)

【厚生労働大臣表彰】

鈴木勇平(宮古職業訓練協会会長) インテグラン株式会社(一関市) 石川敦子(和裁

【岩手県知事表彰】

及川裕敏(陸前高田職業訓練協会) 佐藤雅行(水沢職業訓練協会) 髙橋寛(北上職業訓練協会) 中小路啓二(久慈 西舘達雄(二戸職業訓練協会) 二戸時計工業株式会社(時計修理 二戸市) (半導体製品製造 金ケ崎町) 笹平一彦(左官 盛岡市)

【中央職業能力開発協会長表彰】

鎌田定悦(花巻職業訓練協会) 釜石清美(とび

【東北職業能力開発協会長表彰】

八重樫敏(北上職業訓練協会) 上野正治(釜石職業訓練協会) 佐藤実(陸前高田職 浅倉博子(江刺職業訓練協会) 業訓練協会) 佐藤治(表装・内装仕上げ施工

【岩手県職業能力開発協会長表彰】

有限会社吉辰タイル(北上市 花巻職業訓練協会) 遠藤秀 一(花巻職業訓練協会) 小原稔(北上職業訓練協会) 佐藤武肇(水沢職業訓練協会) 須藤昭義(一関職業訓練協会) 田村惠功(気仙職業訓練協会) 小松博行(陸前高田職 藤川佑也(遠野職業訓練協会) 吉川満(宮古職業訓練協会) 村田親夫(久慈職業訓練協会) 前田恵美子(気仙職業訓練協会) 佐藤沙也香(遠野職業訓練協会) (二戸職業訓練協会) 五十嵐暁子(宮古職業訓練 株式会社田代架設興業(矢巾町) 西山貢(熱絶縁施工 盛岡市) 菅原智(ガラス施工 盛岡市)

岩手県技能士会会報 第19号

令和6年度岩手県技能士大会開催

に岩手手岩

<u>\frac{1}{1}</u>

高

谷

校長、

長

北

11 7

きまし

手県県手

県立立県た

二產職

宮戸業業岩

古高技能手

等技短開働

技術期発局

術專大協澁

校高森井記

熊橋達文職

郁羊校会安

夫校長長定

光也雄業

部

岩岩長

等術力労

か別進

与雇来

辞岩がの

い県室手

た議長県

ただきまれ、盛岡・城会議長は、盛岡・城田事代

た。理長

代市理

飯代河

澤理孝

医森司

副雅定

議之住

長特推

 \equiv

L

用賓

多ご多り



森盛岡市特別参与祝辞



飯澤県議会副議長祝辞

謝様

を岩

、ろん

な

人との

出

11 井

会照

感雄

会会長

文



菊池会長あいさつ



三河岩手県定住推進•雇用 労働室長祝辞

会貢 長献大 表を会 3彰としてまでは、当t 表名技 彰の能 Ĺ 皆士 まし、 岩活手 県に 多 技 能大

社会ご

開年

催 12 令

さ月和

れ126

ま日年

(木)

度岩

サ手

ン県

セ技

ル士

盛大

岡会 . (盛 が、

出

市

和

で 6

] 能

旨本のを

さ

0

を

ま

L 契

会が

そ L

機

لح

な

ること

を

願

ػۣ

士県

要

あ日素伝大

いの晴承会

大らし

L

の発な恭

信け

信することがでればならない一会長が「我・

重い々 0

で匠匠

あのの

り技技

は

で

ては さかか池

> 会 長 そ 表し て、 彰 0 伝 3 達名 をの 行皆 い様 まに し全 とというと、国際に 技 能 士 連

> > 合

考い井人組な にた会、んり講 なだ長そだ現演

7

能のた組で

ご人み

基謝て

くど会

参を照たり

変話

に経へを興ら

と験の通味高

つに感じを校

づな出っ社

つ取

きのして

容私れ出

技

士

にこと、

でつりま学

達ま会取る小

在

至

には

で

カコ

て会

人

なる

内

様技ま に能た、 士 感謝状² をを年 お務 カン 送めら ŋ て10 L い年 ま 間 た しだ に たいわれ た 水 ŋ 口岩 勝手

行 終い最

後

副

会

長

が

大

(会宣

言

を

7

 \mathcal{O}

意



ただきま 上続 地い 区て 技 L 能士 会技 能 高 士 橋会 義活 和動 様報 から報告とし

で日

京

月

30





講演を 1 ただき ま

第42回全国技能士大会開催



大会で表彰された皆様 (左から)照井様 志和様 皆川様

川井和労技 , 初文京者 進多 進移 振 様様様 東遠奥 整野州 地地金 区区ケ 技能 地 士会会 能 士

会

振 興 事 業 及 び 技 能 士 会活 動 に カコ

カゝ

る

長

ざ表

1

皆照志功▶ い彰 定会名会

換 了 まを岩証長の活大開 (水)に 後 受手の表技動会催 谷会 でき 県交彰能に 『報交換を行いては盛会裏にぬると開いるという。」という。 が行の 士貢はれア 元に(一 まし らが授 ル ん は、 行 ち い た わ れ わ 力 技 さ わ グディが 、社)全10 能 デ れました 開 た。 3 振 1 名 催 ア 興 ま 10 L おが 連 玉 事 市令 L やめでとうごか全技連会長 寸 技 7 ケ和 た。各当 Ż 体 谷 6 能 及 لح 年 地 ス 士 び 東 タ 会 1 技 10 区

連0能

認合7士

岩手県技能士会会報 第19号

第62回技能五輪全国大会開催 本県からは3名が入賞





9 5 8

円た







校

お闘種 し常知(会 め賞14本た滑県)が第 2名県 でとうござ 市国か 62 際ら令回 名 で、参 展24和技 が 宗日6能 入銀加賞賞選 開 (日) (日) (日) し1手 催 さ愛ま月全 ま ま名は れ知で21国 9 た敢職 ま県愛日大

技能五輪全国大会、全国障害者技能競技大会 入賞選手7名が知事表敬訪問



で対応いただいた達増 で対応いただいた達増 がました。

感想報告を行いました。 「大樹選手から、大会の 島大樹選手から、大会の 島大樹選手から、大会で金賞 を受賞した本工種目 福 を受賞した西洋料理職 で受賞した西洋料理職 令和6年12月25日(水) 令和6年12月25日(水) 会入賞者4名が、知事表 会入賞者4名が、知事表 会入賞者4名が、知事表 会入賞者の方に、第62回技能五輪全国 に、第62回技能五輪全国

岩手の名工会様からご寄付いただきました

よ多すま み組付 にむは頂り額る で岩 感謝申、 のご功徒 のごあれ 戴感の 技 大能当い謝 、切に使れていたしま、 にしま、 いの取りて会が取り 対 敬様 ま しの意の、産をこ す。 度をこ い組り寄 心の表れ

付いただきました。 解散と残余財産の処分 解散と残余財産の外のを記り残余財産をご寄いたにとから、令和について、岩手の名工会

ざいます。 新年明けましておめでとうご

編

雑

申し出がありました。会に全額寄付したいとの会に全額寄付したいとの産について、類似事業を産について、類似事業を

散することとなりました活動継続が困難なためにわたり後進技能者の意見の醸成、技能尊重気運の醸成にわたり後進技能者の育にわたり後進技能者の育成、技能尊重気運の醸成にかたり後進技能者の育力があることとなりました

方が多いと思います。私が進んでいますが、「自いるいろな分野でのA 興味を持ってなんで、定型的文書作成、や、定型的文書作成、 は敵わないはず とはいえ、P やた でも、画像 D F ファイ 年になりますように自分のひらめきを信 はず。 [像と 人間 DA (うなな分野で活」、身近な分野で活力ルのテキスト化した)として送られてき X P べんでもやってべづきました。 0 ひA らI 思「の 私 もて分Ⅰそいに活 て めが きにん て のるは用

入会のお勧め 士の皆様、ぜひ:

未入会の技能士の皆様、ぜひ地区技能士会や 職種別技能士会へご入会をお願いします。 心から歓迎いたします。

投稿・イベント情報をお寄せください

会員の皆様に投稿をお願いします。

また、会員の皆様が参加する、地域でのイベント情報をお寄せいただければ、事務局で取材に伺います。よろしくお願いします。

発行日 令和7年1月14日

発行元 岩手県技能士会 020-3615紫波郡矢巾町大字南矢幅10-3-1 岩手県立産業技術短期大学校内 Tel.019-613-4620 Fax.019-613-4623 E-mail:<u>iwate@noukai.com</u>

発行責任者 岩手県技能士会専務理事 鈴木一史